

やまがた ぶんか れきし さが 山形の文化・歴史の本を探そう！

わたし くん やまがたけん れきし ぶんか
私たちが暮らす「山形県」には、どんな歴史や文化があるのでしょうか？

れきし ぶんか かん しら かた しょうかい
歴史と文化に関する本と、調べ方を紹介します！

1. 検索機で探してみる

としょかん けんさく きかい
図書館にある検索の機械(OPAC)で、下のキーワードを組み合わせて検索してみよう！キーワードを組み合わせるときは、1文字空けると探しやすくなります
キーワードは…

やまがた (じぶん す しちょうそん)
山形 (自分が住んでいる市町村)

れきし ぶんか まつ きょうどりようり でんとうぶんか
歴史 文化 祭り(まつり) 郷土料理 伝統文化

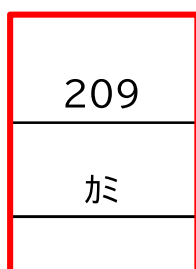


2. どの棚にある？

としょかん せなか した か すうじ なら すうじ せいきゅうきごう よ
図書館の本は、本の背中の下書いてある、数字ごとに並んでいます。この数字を請求記号と呼び、同じ数字(請求記号)の棚には同じテーマの本があります。数字をたよりに本を探してみよう！

209 ぶんかし 280 でんき いじん 380 みんぞくがく 750 でんとうこうげい
209 文化史 280 伝記・偉人 380 民俗学 750 伝統工芸

かい じどうきょうどしりょう かいきょうどしりょう たな さが
※1階こどもエリアの児童郷土資料や、2階郷土資料エリアの棚を探すと良いですよ。



せいきゅうきごう
請求記号は、このように本の背中に
か
書いてあるよ

3.どんな本がある？



としようかん しょうかい
図書館にあるおすすめの本を紹介！

本のタイトル・書いてある人・本を出している会社・本が出た年月

せいきゅうきごう ばしょ ばんごう じゅんばん か
請求記号・本のある場所・本のバーコード番号 の順番で書いています。

【わかりやすい本】

にほんいさん ちいき れきし でんとうぶんか まな ぶんかちょう きょうりよく にほんいさん れんめい きょうりよく
『日本遺産 地域の歴史と伝統文化を学ぶ1』文化庁／協力 日本遺産連盟／協力
ポプラ社 2019.11 Z709.1/ブン/1 児童開架 109172329

ねん にんてい にほんいさん ぶんぶ
2019年までに認定された83の日本遺産が分布マップでひと目でわかります。

かん やまがたけん いさん でわさんざん きたまえぶね つるおか きぬ まつがおかかいこんじょう
1巻は山形県の遺産、出羽三山(P120～123)、北前船(P230～235)、鶴岡の絹や松ヶ岡開墾場
(P236～239)がストーリー・特徴・コラムなどでわかりやすく紹介されています。

にほんいさん ちいき れきし でんとうぶんか まな ぶんかちょう きょうりよく にほんいさん れんめい きょうりよく
『日本遺産 地域の歴史と伝統文化を学ぶ2』文化庁／協力 日本遺産連盟／協力
ポプラ社 2019.11 Z709.1/ブン/2 児童開架 109175638

ねん にんてい にほんいさん ぶんぶ
2019年までに認定された83の日本遺産が分布マップでひと目でわかります。

かん やまがたけん いさん べにばな か かん きたまえぶね ふか かか べにばな
2巻は山形県の遺産、紅花について書かれています。1巻の北前船とも深い関わりのある紅花がどのよ
うに流通したのか、地図や写真付きでわかりやすく紹介されています。(P88～93)

とどうふけん きょうどがנג ほっかいどうちほう とうほくちほう
『47都道府県の郷土玩具1 北海道地方・東北地方』

にほんがנגはくぶつかん かんしゅう いのうえ しげよし かんしゅう さいとう みちこ ぶん へん すなの かよこ ぶん へん
日本玩具博物館／監修 井上 重義／監修 斉藤 道子／文・編 砂野 加代子／文・編
おおつきしょてん 2022.4 Z759.9/ニハ/1 児童開架 109324005

じょうかまち はってん よねざわし つるおかし やまがた つた しゅうげいひん きょうどがנג くわ しょうかい
城下町として発展した米沢市・鶴岡市をはじめ、山形に伝わる手工芸品、郷土玩具について詳しく紹介
されています。(P28～P31)

『調べる!47都道府県 伝統工芸で見る日本』こどもくらぶ／編
どうゆうかん 2018.10 Z750.21/㊦ 児童開架 109348508

やまがたけん でんとうこうげいひん はってん しょうかい
山形県の伝統工芸品がどのように発展してきたのかを紹介されています。(P24～P25)

『学習まんが やまがた人物館 (全4巻)』山形県連合小学校長会／編
やまがたきょういくようひん 1996.9 Z280/㊦/1～4 児童郷土

さまざまな分野で活躍した山形出身の人物について、まんがでわかりやすく書かれています。

1巻(106823337)

で 出てくる人: 最上徳内、芳賀忠徳・忠庵、斎藤茂吉、志田周子、鈴木庄一郎、直江兼続、A・ローレツ、
ひらつかひできち あだちみねいちろう ほんまこうきゅう
平塚英吉、安達峰一郎、本間光丘。

2巻(104137495)

で 出てくる人: 最上義光、浜田広介、栗本東明、佐藤栄助、石沢慈鳥、伊東忠太、佐藤政養、田宮五郎、
おんみょうじゆうぞう さとうちやこ
隠明寺勇象、佐藤千夜子。

3巻(106825631)

で 出てくる人: 三島通庸、阿部亀治、鈴木清風、結城哀草果、長沢理玄、沓沢朝治、結城よしを、
しらはたこうたろう たざわいなぶね うえすぎようざん
白畑孝太郎、田沢稲舟、上杉鷹山。

4巻(106823329)

で 出てくる人: 金子てい、喜早伊右衛門、須藤克三、小関三英、新海竹太郎、松田甚次郎、菅実秀、
きくちしんがく すずきていじろう ばんじゅんざぶろう
菊地新学、鈴木貞次郎、伴淳三郎。

『まんが 47都道府県研究レポート 1』

かいせいしゃ 2018.2 Z291/材/1 児童開架 109351509

まつおばしろう く よ もがみがわ りっしゃくじ でわさんざん しょうかい やまがたけん とくさんひん れきし
松尾芭蕉の句が詠まれた最上川、立石寺、出羽三山の紹介や、山形県の特産品と歴史についてまんが
でわかりやすく書かれています。(P91～104)



『まるごとわかる ふるさとおもしろ食べもの百科 第1巻』

日本図書センター 2010.3 Z383.81/幼/1 児童開架 108264653

山形県の特産品であるさくらんぼ、ラ・フランス、米沢牛、青菜漬けをはじめとして、山形のさまざまな郷土料理の魅力や歴史について写真付きで詳しく紹介されています。(P36～P41)

『日本全国祭りと行事図鑑』

スタジオタッククリエイティブ 2019.12 Z386.1/タ 児童開架 109178050

山形県のお祭りについて写真付きでわかりやすく紹介しています。それぞれのお祭りがどんな内容で、いつ、どこで、誰が開催しているのかを調べることができます。(P40～45)

『日本の祭り 1 北海道・東北編』 「日本の祭り」編集室／編

理論社 2014.10 Z386.1/加/1 児童開架 109351533

山形県のお祭りの由来や詳しい内容、開催される日付や場所を紹介しています。それぞれのお祭りの公式サイトや、お祭りについて書かれている本の紹介もあるので、さらに詳しく調べたい時にも参考になります。(P61～70)後ろのページには山形県のお祭りのリストも付いています。(P86～87)

【少し難しいけど参考になる本】

『歴史の資料 カラー版』 正進社／編

正進社 2002 Z209/マ 児童郷土 106837745

付録に山形県の歴史や郷土の歴史にかかわった人物、遺跡が書かれています。



『ビジュアルワイド新日本風土記 6 山形県』 ぎょうせい／編集

ぎょうせい 1988.12 K290/マ 郷土開架 101737807

山形県のが、地理、歴史、産業、文化、郷土の人物といった項目にわけてまとめられています。調べやすいように、後ろのページに索引がついています。

『ぼくらの山形県』^{やまがたけん} 須藤 克三^{すどう かつぞう}／編著^{へんちよ}

ポプラ社^{しや} 1984.10 YK290/ス^{きやうどか い か} 郷土開架 103394656

山形県のことが、地理、歴史、政治、産業、文化、お祭り、年中行事といった項目にわけてまとめられています。後ろのページには山形県でよく使われていた方言や主な民謡も書かれています。

『山形県史 別編1 図説山形県史』^{やまがたけんし} 山形県^{やまがたけん}／編集^{へんしゅう}

山形県 1988.3 K209/ヤマ/バ-1^{きやうどか い か} 郷土開架 101704437

ほかの本より漢字が多い、少し高学年の人向けの本です。それぞれの県の歴史がまとまっている本を「県史」と言って、研究者が調べものをするときによく使います。

『山形県史』は山形県版の「県史」で、本編は分厚くて何冊もありますが、この『図説山形県史』はその内容がわかりやすく1冊にまとめられています。歴史についての本なので昔のことから今のことに向かって順番に書かれています。

わからないことがあったら、
カウンターにいる図書館の人に聞いてね

